

令和7年度上半期 現 況 の ご 報 告

遠 州 中 央 農 業 協 同 組 合

住 所 : 静岡県磐田市見付3599-1

電 話 : 0538-36-7002

URL <https://jaenchu.ja-shizuoka.or.jp>

この冊子は、農協法第54条の3に定められた経営内容の開示のための冊子
(ディスクロージャー誌)です。

ＪＡ遠州中央令和７年度上半期
経営状況のご案内

１ ＪＡの地域貢献

当ＪＡは、袋井市・磐田市・浜松市・森町を事業区域として、「農業を通じて新しい時代の住みよい社会と健やかでうおいのある生活を地域の人たちとともに育み高めつづけます」の基本理念のもと、農業の振興と健康で豊かな地域社会の実現に向け、金融・共済・営農・経済等総合的に事業活動をしています。また、次のような活動を通じて地域社会・文化への貢献に努めています。

- ①ファーマーズマーケット・農産物直売所・新鮮市等での安全・安心な農産物の提供
- ②管内各地で児童を対象とした田植え・稲刈り・芋ほり・野菜収穫等の農業体験の実施
- ③新規就農者育成等を目的とした「ときめき園芸教室」の実施
- ④無料職業紹介による農家と地域住民のマッチングを実施
- ⑤ＪＡ女性部たすけあいグループによる介護支援の実施

２ 農協法および金融再生法に基づく開示債権(単体)

当ＪＡの金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。
今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

(単位：百万円)

債権区分	令和７年３月末	令和７年９月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	41	48	6
危険債権	64	60	△ 3
要管理債権	－	－	－
三月以上延滞債権	－	－	－
貸出条件緩和債権	－	－	－
小計	106	109	2
正常債権	101,842	103,823	1,980
合計	101,949	103,933	1,983

※記載金額は百万円未満を切り捨ててありますので合計すると相違する場合があります。

注：１. 令和７年９月末の計数は、令和７年８月末を基準日として行なった自己査定結果（債務者区分及び債権額）を基準としています。

２. 各債権の定義は次のとおりです。

１. 破産更生債権およびこれらに準ずる債権
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。
２. 危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
３. 要管理債権
４. 「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と５. 「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。
４. 三月以上延滞債権
元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権およびこれらに準ずる債権および危険債権に該当しないものをいいます。
５. 貸出条件緩和債権
債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行なった貸出金で、破産更生債権およびこれらに準ずる債権、危険債権および三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。
６. 正常債権
債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

３ 単体自己資本比率

当ＪＡの自己資本比率は、令和７年９月末２２．４５％程度と国内基準４％を大幅に上回る水準を維持しています。

令和７年３月末	令和７年９月末(見込み)
２３．０２％	２２．４５％程度

注：１. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には４％以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額（コア資本に係る基礎項目の額－コア資本に係る調整項目の額）}}{\text{信用リスク・アセットの額の合計額＋マーケット・リスク相当額の合計額を８％で除して得た額＋オペレーショナル・リスク相当額の合計額を８％で除して得た額}}$$

２. 令和７年９月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算時の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、令和７年８月末を基準日として行なった資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額の合計額を８％で除して得た額は、直近決算における数値を使用しています。なお、マーケット・リスク相当額の合計額を８％で除して得た額は、不算入としています。

4 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和6年9月末	令和7年3月末	令和7年9月末
貯金	599,020	576,773	576,282
貸出金	97,181	101,900	106,190
預金	458,328	429,099	421,649
有価証券	54,821	50,126	61,732

※記載金額は百万円未満を切り捨ててありますので合計すると相違する場合があります。

注：令和6年9月末および令和7年9月末の残高は帳簿価額を、
令和7年3月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

5 有価証券等の時価情報

(単位：百万円)

	令和7年3月末			令和7年9月末		
	帳簿価額	時価	含み損益	帳簿価額	時価	含み損益
満期保有目的の債券	1,605	1,568	△ 36	2,205	2,147	△ 57

(単位：百万円)

	令和7年3月末			令和7年9月末		
	取得原価	時価	評価差額	取得原価	時価	評価差額
その他有価証券	56,977	48,521	△ 8,456	59,527	49,452	△ 10,074
株 式	-	-	-	-	-	-
債 券	54,977	46,940	△ 8,037	57,427	47,836	△ 9,591
そ の 他	2,000	1,581	△ 418	2,099	1,615	△ 483

※記載金額は百万円未満を切り捨ててありますので合計すると相違する場合があります。

- 注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。
2. その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。
3. 令和7年3月末および令和7年9月末の含み損益・評価差額は、各時点の帳簿価額・取得原価と時価との差額を表示しています。
4. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。